

4 大垣市立青墓小学校

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 学 校 名 | 大垣市立青墓小学校 (校長 桑原 浩美) |
| 活動の種類・単位 | ふるさと学習を、地域の自然・歴史を題材として学習や発表に取り組んだ |
| 教育課程上の位置付け | 総合的な学習の時間 その他「ふるさと大垣科」 |

1 活動テーマ

自分に自信をもち、ふるさとを誇りに思う子の育成

2 主な活動内容

(1) ふるさと学習

青墓小校区は、県内最大の昼飯大塚古墳や美濃国分寺跡、青墓大太鼓踊りなどの有形・無形の文化財が数多く残る古代から栄えた地域として、伝説・民話も豊富である。それらの歴史や校区の豊かな自然を学び生かす学習に全校で取り組んでいる。

地域探検では学年に合わせ、地区の史跡や文化財を訪れて見学したり、地域の方々の話を聞いた後、発表の機会を持ち、青墓の自然や歴史を学ぶことができた。

また、青小まつりではふるさと学習で学んだ地域の自然や歴史を題材にした学習発表会を行った。たくさんの地域の方の来校があり、1・2年生のおもちゃランドでは園児も招待して一緒に楽しく遊んだり、3年生では青墓地区に伝わる話をペープサートやクイズを作り発表したりした。高学年では地域に伝わる歴史をもとにした音楽劇(4年:白玉姫, 5年:照手姫, 6年:朝長)を発表した。

観劇された方々からたくさんの拍手とあたたかい声かけを頂き、それぞれが自分の役割をやりきった達成感を得ることができた。



▲ 6年音楽劇「朝長と青墓の夜」

(2) 地域のボランティアの方との奉仕作業

毎月、土曜授業の朝活動を利用して、学年ごとに担当場所を決め、地域のボランティアの方々と一緒に奉仕作業をしている。

夏には除草作業、秋には水路にたまった落ち葉の清掃など、熊手やリヤカーを使い、地域の方と声を掛け合いながら協力して作業した。



▲ 土曜授業日:朝の奉仕活動

学校支援ボランティアの方と一緒に

(3) ペットボトルキャップの回収活動

福祉委員会が中心となって、ペットボトルキャップ回収の呼びかけをしている。1年を通して集めたペットボトルキャップはリサイクルショップを通して、世界の子どもたちにワクチンを送る活動に参加している。今年も全校で約100Kg(ワクチン25人分)を寄付することができた。

| | |
|-----------|---|
| 子供たちに付いた力 | 民話やまつりなど青墓の伝統や歴史を自ら調べ、発表をやりきることで自主性が身につき、ふるさとへの思いを高めることができた。 |
| 効果 | ふるさと学習や奉仕作業を地域の方と一緒に活動することで、ふるさとを大切に思う心を共有できた。 |
| 今後の方向 | ふるさと(他者、社会、自然・環境)との関わりの中できっと生きる自分に自信を持ち、ふるさとを誇りに思う子をこれからも育てていきたい。 |